FKsystem

製　品　保　証　書

この製品保証書は、エフケイシステムが定める製品保証規定に基づき製品の無料修理をお約束するものです。

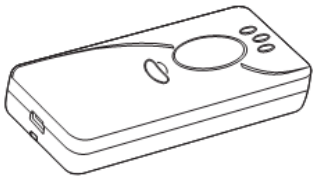
保証期間：ご購入日より一年間

製　品　保　証　規　定

●この製品の保証規定は、製品保証書の明記した期間内において取扱説明書等に従って正常な使用をしていたにも関わらず製品故障が発生した場合に、製品の無料修理をお約束するものです。
●保証期間の無料修理は、故障製品を当社までお送り頂き、修理完了品又は代替品をお客様に返送することとします。
裏面の記入欄に不具合の内容を記入し、表紙に記載され宛先まで、故障製品を送付して下さい。
送料はそれぞれ送付元負担とさせて頂きます。
●保証期間内であっても次の項目に該当する場合は、無料修理の範囲外とさせて頂きます。
（但し、無料修理の範囲外であっても有料での修理又は代替品への交換・サービスはご利用頂けます。）

※前ページに続きます。

簡易設定マニュアル



株式会社エフケイシステム
〒462-0063 名古屋市北区丸新町 212
TEL：(052)909-7460　FAX：(052)909-7461
サポート窓口：support@fksystem.com

・その他の個別設定等は下記 URL にございます。
詳細設定マニュアル
http://www.fksystem.com/download/CM520/CM-520-manual.pdf

iOS でご使用の場合

・ソフトキーボードの表示方法
入力したいアプリケーションを起動し、カーソルを合わせます。
Ⓔサブボタンを押していただくとソフトキーボードが表示されます。
入力時は English(US)に切替えてご使用ください。

・読み取ったデータが桁落ちする場合
データの転送スピードが速いため、桁落ちをすることがございます。
下記のバーコードを①～⑪の順にスキャンしてお試しください。

①設定開始
②遅延桁間隔設定
③1 桁
④設定保存
⑤設定終了
⑥設定開始
⑦文字間の転送時間設定
⑧ 5
⑨ 0
⑩設定保存
⑪設定終了

設定開始　　設定終了

工場出荷時の設定に戻す

手順：「設定開始」→「工場出荷時設定」の順にスキャンします。

工場出荷時設定

スキャナ本体の日時設定

手順：「設定開始」→「日時設定」→「数字バーコード」→「設定保存」の順にスキャンします。

日時設定

数字バーコード

0	1	2
3	4	5
6	7	8
9		

例）2016 年 5 月 18 日 14:07 52 秒の場合
1, 6, 0, 5, 1, 8, 1, 4, 0, 7, 5, 2 の順にスキャンします。
※必ず 12 桁スキャンして下さい。

設定保存

ASCII コードテーブル

	0(*)	1(*)	0	1	2	3	4	5	6	7
0	Null		NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	Up	F1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	Down	F2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	Left	F3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	Right	F4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t
5	PgUp	F5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	PgDn	F6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7		F7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	Bs	F8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	Tab	F9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A		F10	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	Home	Esc	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	End	F11	FF	FS	,	<	L	/	l	|
D	Enter	F12	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	Insert	Ctrl+	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	Delete	Alt+	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

(*) USB キーボード時のみ有効

数字バーコード
（表示された Pin コードの数字バーコードをスキャンします）

0	1	2
3	4	5
6	7	8
9		

例）“1458”と表示された場合、
1→4→5→8→「設定保存」の順にスキャンします。

設定保存

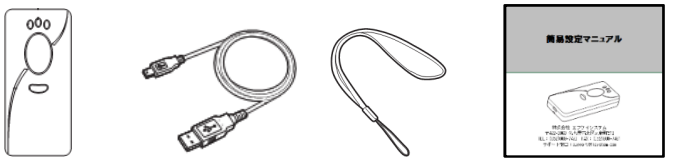
●ボタン操作でペアリングモードに入る
1. Ⓔサブボタンを長押しします。
2. ブザーが 3 回鳴ります。（Ⓐモード LED が高速点滅変わります。）
3. Ⓔサブボタンを押したまま、Ⓓトリガーボタンを押します。

ファームウェアバージョン表示

手順：メモ帳などのテキストエディターを開きます。
附属の USB ケーブルを PC に接続してください。
「設定開始」→「バージョン情報」の順にスキャンします。

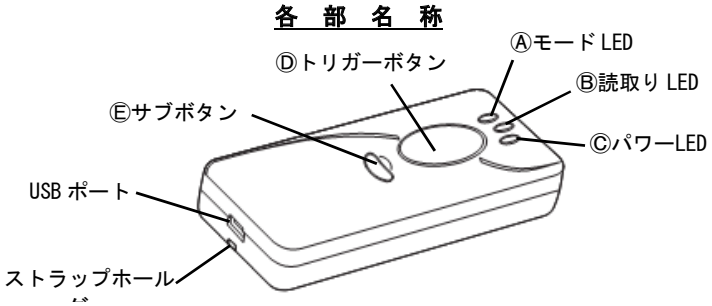
設定開始　　バージョン情報

付　属　品



スキャナー本体　USB ケーブル　ストラップ　簡易設定マニュアル

各　部　名　称



Ⓐモード LED：【緑】ケーブルモード【オレンジ】メモリーモード【青】Bluetooth モード
Ⓑ読取り LED：【緑】バーコード読取り【オレンジ】転送モード【赤】消去/エラー
ⒸパワーLED：【点灯】充電中【2 秒間隔の点滅】満充電

1. 使用上の誤り又は不当な修理や改造によって生じた故障及び損傷
2. お買い上げ後の輸送、移動、落下等によって生じた故障及び損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧等の外部要因によって生じた故障及び損傷
4. 車両船舶等に搭載されたことによって生じた故障及び損傷
5. 経年劣化によるもの、または消耗品の交換
6. 本製品保証書の提示がない場合
7. 本製品保証書の所定事項に記入がない場合、又は字句を不当に書き換えられた場合

●本製品保証規定は本製品についてのみ無料修理をお約束するもので本製品の故障又は使用によるその他の損害については、当社はその責を一切負わないものとします。
●本製品保証規定は日本国内でのみ有効です。
●本製品保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

不具合記入欄（できる限り詳しくご記入下さい）

Bluetooth HID 接続設定

●Bluetooth モードに設定する必要があります。
Ⓓトリガー押ボタン押下時、Ⓐモード LED が青点灯していない場合は Bluetooth モードへ切替えて下さい。手順：①、②の順にスキャンします。
既に Bluetooth モードの場合は、1.2.3 の順に進んでいきます。

①設定開始　② Bluetooth モード

1. HID モード設定

手順：「①設定開始」→②どちらかを選択→「③設定終了」の順にスキャンします。

①設定開始

②Windows/Android4 以上の場合　②iOS の場合（iPhone/Pad）

③設定終了

2. ペアリングモード

手順：「④設定開始」→「⑤ペアリングモード」の順にスキャンします。

④設定開始　⑤ペアリングモード

3. Ⓐモード LED が青点滅中に接続デバイス側で検索を行います。検索された「SmartBt」を選択すると、「ペア設定リクエスト」画面が表示されます。（接続デバイスによって表示方法は異なります。）表示された Pin コードを設定します。次ページの数字バーコードをスキャンし、最後に「設定保存」をスキャンします。

ご使用の注意

・Bluetooth モードで各種設定を行っている際、設定中一度ペアリングが解除されます。設定終了後、ペアリング復帰前にバーコードをスキャンすると接続不良を起こす場合があります。
【症状】画面上は正常接続になっているが、スキャンしてもデータが転送されない。
症状が発生した場合、端末に登録されている CM-520（SmartBt）を削除し、再度接続設定を行ってください。
・ペアリング中に工場出荷時の設定に戻すと接続不良を起こす場合があります。

Android でご使用の場合

・Android OS は 4.0 以上の機器でご使用ください。
・キーボード言語は「英語」でご使用ください。①～③の順にスキャンしてください。

①設定開始

②英語

③設定終了

・改行しない、または全角入力の場合、キーボードを半角入力に切り替える必要があります。
ソフトキーボードの表示は、Bluetooth 接続を一時的に切断する必要があります。
【方法】
1. Ⓔサブボタンを長押し→2. ブザーが 3 回鳴る→3. Ⓔサブボタンから手を離す→4. キーボード設定「入力方法の選択」を「英語」に設定→5. 適当なバーコードをスキャンすると接続復帰します。

設定開始　設定終了

Bluetooth 切断タイムアウト

手順：「設定開始」→「切断タイムアウト」→数字バーコード→「設定保存」→「設定終了」の順にスキャンします。

切断タイムアウト

数字バーコード
※設定可能範囲は、010～255 です。

0	1	2
3	4	5
6	7	8
9		

例）3 分 = 180 秒
1→8→「設定保存」→「設定終了」の順にスキャンします。

設定保存

設定開始　設定終了

GS1 DataBar 読取り 有効/無効の設定

手順：「設定開始」→有効/無効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

（★印：デフォルト）

バーコード種	有効	★無効
RSS14 (GS1 DataBar)		
RSS Limited (GS1 DataBar)		
RSS14 Stacked (GS1 DataBar)		
RSS Expanded (GS1 DataBar)		
RSS Expanded Stacked (GS1 DataBar)		

設定開始　　設定終了

動作モード切替（メモリーモード⇄Bluetooth モード）

※メモリーモード(Ⓐモード LED：オレンジ)をご使用時に Bluetooth モードに切替え Bluetooth モード（Ⓐモード LED：青）をご使用時にメモリーモードに切替えます。

手順：「設定開始」→①②のどちらかを選択してスキャンします。

①メモリーモードに切替　　②Bluetooth モードに切替

●ボタン操作でメモリーモード⇄Bluetooth モードに切替える

1. Ⓓトリガーボタンを長押しします。
2. ブザーが 3 回鳴ります。
3. Ⓓトリガーボタンを押したままにします。
4. ブザーが 1 回鳴ります。
5. Ⓓトリガーボタンから手を離します。
6. 再起動後に動作モードが切替わります。

メモリー出力データフォーマット（ヘッダー/フッター送信）設定

手順：「設定開始」→送信する/送信しないのどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ヘッダー

送信する　　送信しない

◆フッター

送信する　　送信しない

設定開始　　設定終了

読取りデータ日時の付加設定

手順：「設定開始」→無/有のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

●日付の付加

手順：「設定開始」→無/有のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時　無　有

◆メモリーモード時　無　有

◆Bluetooth モード時　無　有

●時間の付加

手順：「設定開始」→無/有のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時　無　有

◆メモリーモード時　無　有

◆Bluetooth モード時　無　有

設定開始　　設定終了

大文字/小文字の変換（Bluetooth モード時）

●バーコードデータの大文字/小文字の変換を設定します。

手順：「設定開始」→①②③④のどれかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

①変換無し　　②大文字/小文字反転変換

③小文字変換　　④大文字変換

※小文字変換・・・強制的に全て小文字に変換します。

※大文字変換・・・強制的に全て大文字に変換します。

キーボード言語設定

手順：「設定開始」→英語/日本語のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

※記号が違う場合に「日本語」に設定してみてください。

◆Bluetooth モード時

英語　　日本語

◆ケーブルモード/メモリーモード時

英語　　日本語

設定開始　　設定終了

USB ケーブル差込み時バイブレータの有無設定

手順：「設定開始」→無/有のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆全モード共通　無　有

USB ケーブル差込み時メロディーの音量設定

手順：「設定開始」→小/大のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆全モード共通　小　大

USB ケーブル差込み時メロディーの有無設定

手順：「設定開始」→無/有のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆全モード共通　無　有

設定時バイブレータの有無設定

手順：「設定開始」→無/有のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆全モード共通　無　有

設定開始　　設定終了

システム通知音の音量設定

手順：「設定開始」→小/大のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時　小　大

◆メモリーモード時　小　大

◆Bluetooth モード時（ペアリングモードに入る時の音、Pin コード入力する時の音）

小　大

システム通知音の有無設定

手順：「設定開始」→無/有のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時　無　有

◆メモリーモード時　無　有

◆Bluetooth モード時（ペアリングモードに入る時の音、Pin コード入力する時の音）

無　有

設定開始　　設定終了

トリガー/サブボタン操作によるイベント音の音量設定

手順：「設定開始」→小/大のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時　小　大

◆メモリーモード時　小　大

◆Bluetooth モード時（ペアリングモードに入る時のサブボタン長押しの音）

小　大

トリガー/サブボタン操作によるイベント音の有無設定

手順：「設定開始」→無/有のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時　無　有

◆メモリーモード時　無　有

◆Bluetooth モード時（ペアリングモードに入る時のサブボタン長押しの音）

無　有

バーコード設定

設定開始　　設定終了

手順：「設定開始」→それぞれのどちらかを選択→「設定終了」の順に
スキャンします。　（★印デフォルト）

NW-7	スタート/ストップコード送信	
	送信する	★送信しない
ITF	読取り	
	有効	★無効
JAN	先頭が 0 の JAN コードの 0 を消去する	
	★有効	無効
Code39	チェックデジット検証（モジュラス 43）	
	有効	★無効
	チェックデジット送信	
	送信する	★送信しない

USB ケーブルを使用して蓄積データを転送する

●メモリモードで読み取ったバーコードデータをパソコンに送信します。
1. CM-520 と電源が入ったパソコンを付属している USB ケーブルで接続します。
2. Ⓔサブボタンを長押し → 3 回のブザー（ピピピッ） → さらに長押し
→ 1 回のブザー(ピー) → Ⓔサブボタンを離す
Ⓑ読取り LED がオレンジが点滅し、転送モードになります。
3. パソコンのアプリを立ち上げカーソルを合わせます。
4. Ⓓトリガーボタンを押下すると蓄積データが転送されます。
※バーコードでも転送モードに変更できます。
手順：「設定開始」→「転送モード」の順にスキャンします。

設定開始　　転送モード

Bluetooth を使用して蓄積データを転送する

●メモリモードで読み取ったバーコードデータを Bluetooth 接続端末に送信します。
※送信先の端末とは「Bluetooth HID 接続設定」にて事前に接続を行って下さい。
1. メモリモードを Bluetooth モードへ切替えます。
※USB ケーブルは接続しないで下さい。
手順：「設定開始」→「Bluetooth モード」の順にスキャンします。

設定開始　　Bluetooth モード

2. Ⓔサブボタンを長押し → 3 回のブザー（ピピピッ） → さらに長押し
→ 1 回のブザー(ピー) → Ⓔサブボタンを離す
Ⓑ読取り LED がオレンジが点滅し、転送モードになります。
3. 接続端末のアプリを立ち上げカーソルを合わせます。
4. Ⓓトリガーボタンを押下すると蓄積データが転送されます。

※データ転送後、転送済みのデータは消去されません。（デフォルト）

設定開始　　設定終了

メモリー蓄積データを全て

手順：「全て消去」のみをスキャンします。**「設定開始」「設定終了」は不要です。**

全て消去

日時の形式

◆日付の形式
手順：「設定開始」→①②③④⑤のどれかを選択→「設定終了」の順にスキャンします

①YYYYMMDD　②MMDDYYYY
③DDMMYYYY　④YYMMDD
⑤MMDDYY

◆時間の形式
手順：「設定開始」→①②③のどれかを選択→「設定終了」の順にスキャンします

①hhmmss　②hhmm
③mmss

設定開始　　設定終了

改行コードの設定（Bluetooth モード時）

●改行コードを付加しない場合は、「無」の設定バーコードをスキャンして下さい。
手順：「設定開始」→有/無のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします

有　　無

ポストアンブルの設定（Bluetooth モード時）

●上記の改行コードの設定を「有」にしておく必要があります。
手順：「設定開始」→「ポストアンブル設定」→16 進バーコード→「設定保存」
→「設定終了」の順にスキャンします。

ポストアンブル設定　　設定保存

16 進バーコード

0	1	2
3	4	5
6	7	8
9	A	B
C	D	E
F		

※16 進バーコードのスキャン例
HT：0、9　CR：0、D　スペース：2、0
LF：0、A　CR/LF：0、D、0、A

設定開始　　設定終了

読取りバイブレータの有無設

手順：「設定開始」→無/有のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時　無　有
◆メモリーモード時　無　有
◆Bluetooth モード時　無　有

システム通知バイブレータの有無設定

手順：「設定開始」→無/有のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時　無　有
◆メモリーモード時　無　有
◆Bluetooth モード時　（ペアリングモードに入る時、Pin コード入力する時のバイブレータ）
無　有

設定開始　　設定終了

読取りビープ音の音量設定

手順：「設定開始」→小/大のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時　小　大
◆メモリーモード時　小　大
◆Bluetooth モード時　小　大

読取りビープ音の有無設定

手順：「設定開始」→,無/有のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします

◆ケーブルモード時　無　有
◆メモリーモード時　無　有
◆Bluetooth モード時　無　有